

令和 6 年 度
第 103 回全国高等学校サッカー選手権大会秋田県大会要項

1. 名 称 令和 6 年度第 103 回全国高等学校サッカー選手権大会秋田県大会
2. 主 催 (一社)秋田県サッカー協会・秋田県高等学校体育連盟・ABS 秋田放送
3. 後 援 (公財)秋田県スポーツ協会・秋田県教育委員会・秋田市教育委員会・読売新聞社
4. 期 日 1 回戦～準々決勝 令和 6 年 10 月 5 日 (土)・12 日 (土)・14 日 (月)
準決勝 令和 6 年 10 月 19 日 (土) 決勝 令和 6 年 10 月 26 日 (土)
5. 場 所 1 回戦～2 回戦 県立中央公園球技場・西目カントリーパーク
ふれあいスポーツランド・ソラーレ・秋田商業高校グラウンド
準々決勝 西目カントリーパーク・ふれあいスポーツランド・ソラーレ
準決勝・決勝 ソユースタジアム
6. 競 技 規 定 ①令和 6 年度日本サッカー協会制定の『サッカー競技規則』による。
②登録メンバーの内から試合ごとに 20 人を登録し、5 人まで主審の許可を得て交代することができる。
③後半の交代回数を 3 回とする。(1 回で複数名を交代することは可能)
前半、ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルでの交代は、後半の交代回数に含まれない。
④延長戦に入った際、後半に 3 回の選手交代を行った場合でも、選手交代を 1 回行うことができる。(交代枠が残されている場合に限り)。加えて延長戦開始前および延長戦のハーフタイムにも交代することができ、交代回数にはカウントされない。
⑤延長戦に入った際、さらにもう 1 人(6 人目)の交代はできない。
⑥今大会において退場を命じられた競技者は、次回 1 試合については試合に出場できない。その後の処置については規律委員会で決定する。今大会内で処分消化できなかった場合は直近の公式戦にて消化するものとする。
※規律委員会：荻原、安井、高橋寿、高橋佳、伊藤、堀内
⑦今大会において警告を 2 回受けた競技者は、今大会における次回 1 試合の出場資格を失う。なお、今大会の警告は他の競技会には持ち越さない。
⑧ユニホームについて
ア) 背番号は 1～25 番の通し番号とし、正副 2 着を必ず携行すること。
イ) 胸番号を必ず付けること。
ウ) 縞のユニホームの背番号は台地に番号を入れること。
エ) 審判と同一色又は類似色の上衣を用いる事はできない。
オ) 参加申込み以後の背番号の変更、色の変更は認めない。
カ) 合同チームおよびユニフォームの廃盤等の特別な事情がある場合は競技委員長の判断のもと用具の緩和を認める。アームバンドも同様に第 103 回大会に関しては競技委員長の判断のもと既存のものの使用を認める。
7. 競 技 方 法 ①トーナメント方式により県代表(優勝)チームを決定する。
②試合時間：80 分(PK 方式)
※準々決勝以降においては、20 分の延長を行い、それでも勝負が決しない時は、PK 方式により決定する。
③ハーフタイムのインターバルは前半終了から後半開始まで 10 分間とする。
④不測の事態で競技が中断したときは、その中断した状態から再開する。その際は競技本部へ必ず報告する。最大 1 時間を基準に判断する。

8. 参加資格
- ①令和6年度日本サッカー協会に登録を完了した者とする。
 - ②秋田県高等学校体育連盟加盟校在生徒であること。
 - ③平成17年4月2日以降に生まれた者。ただし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - ④チーム編成において全日制課程・通信制課程・定時制課程の生徒による混成は認めない。
 - ⑤ア) 転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、都道府県高体連会長の許可があればこの限りでない。
 - イ) 高体連加盟チームに所属していた選手は他校において6ヶ月間は出場できない。
 - ウ) 転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームに移籍する場合は上記イに準ずるものとする。ただし、この規定ウの適用は当該年度内に限るものとする。
 - ⑥参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の許可を必要とする。
 - ⑦外国留學生の登録は4人以内とし、その中から常時2名以内の出場とする。
 - ⑧参加資格の特例
 - ア) 当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、秋田県高体連が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い、大会参加を認める。
 - イ) 上記③のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。
- ※大会参加資格の別途に定める規定
- 1) 学校教育法第82条の2、83条の学校に在籍し、秋田県高体連の大会に参加を認められた生徒であること。
 - 2) 以下の条件を具備すること。
 - <大会参加資格を認める条件>
 - ア) 秋田県高体連の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ) 参加を希望する専修学校及び各種学校にあたっては、学齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ) 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を逸しておらず、運営が適切であること。
 - <大会に際し、守るべき条件>
 - ア) 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - イ) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
9. 参加制限 1チームは、部長1名・監督1名・主務1名・選手25名とする。
10. 参加申込
- ①参加申込書 申込みは所定の様式(A4版)により、申込み〆切日までに下記アドレスへデータ送信すること。押印した原本は抽選会時に1部持参すること。なお、登録チーム所属歴の欄は、サッカーをしていなかった場合は空欄にすること。
 - ②申込期日： 令和6年9月11日(水) 15:00必着
 - ※ 尚、不参加の学校は8月26日(月)まで大曲工業高校 高橋まで連絡すること。
 - ③申込先 〒014-0045 大仙市大曲若葉町3-17 大曲工業高等学校 高橋 宛
e-mail : takahashi-yoshiteru@akita-pref.ed.jp
 - ④登録変更：開会式前と準決勝前に5名以内の参加登録選手の変更・追加を認める。所定の選手登録変更用紙に記入捺印の上、部長会議および準決勝(10:30)の前に各会場本部に提出すること。ただし、退場者に代わるエントリー変更は認めない。
11. 抽 選 令和6年9月12日(木) 14時00分～
ABS秋田放送(Tel.018-826-8533) ※必ず出席のこと。
12. 引率責任者
- ①引率責任者は、部活動がある学校については当該校の職員が引率することを原則とする。部活動がない学校については、校長の承認のうえ、保護者が責任を負うことを条件に保護者等の引率を認める。ただし、この場合保護者から同意書を取り付けること。
 - ②監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

13. 感染防止対策について

「秋田県高等学校体育連盟主催大会等における感染防止対策について」に従うこと。

14. 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

- ①大会プログラムに掲載され、競技場内でアナウンスや掲示板等に掲載されることがあります。また大会関係HPに掲載されることがあります。
- ②県高体連、各専門部、またはこれらに認められた報道関係等が撮影した映像・写真・記録等は、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがあります。
- ③大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとして、これ以外の目的に使用することはありません。参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。また、大会役員、競技役員、その他の各種委員や補助員、大会関係者及び会場に来られた観客の皆様につきましても、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして対応させていただきます。

15. ボール協賛 株式会社ミカサ・株式会社モルテン

16. そ の 他

- ①部長会議は大会初日（5日）8:30より行う。開会式はその後9:00より行う。式開始10分前に、ピッチに集合し、向かって右から組合わせ表のチーム番号順に整列する。その際、各校は部旗又は学校の略旗を携行すること。
- ②準決勝・決勝の試合前に両チームは参加登録選手の選手証を本部に提出すること。
- ③ベンチは、小さい番号がグラウンドに向かって左側（記録）、大きい番号が右側（スコアボード）とする。
- ④ベンチ定員は、役員5名・控え選手9名の計14名とする。
- ⑤各コートとも、第1試合のチームが準備、最終試合のチームが後片付けをする。
- ⑥ユニホームチェックは、試合開始70分前に各コートの記録席で行う。（正副持参）
- ⑦テクニカルエリアでの指示は、役員1名に限る（複数名が同時にエリア内で指示することはできない。）
- ⑧試合開始前のピッチ内でのウォーミングアップは準々決勝までは開始25分前からの10分間、準決勝・決勝は開始30分前からの15分間とする。
- ⑨準決勝の担架・ボールパーソンは第1試合は第2試合のチームから、第2試合は第1試合のチームから、決勝は準決勝敗退チームから出すこととする。
- ⑩出場チームは必ず審判を帯同すること。